

Q
28

エコナビ(省エネナビ)とは、どんな機能なの？

A 汚れの量や食器の量、室内の温度をそれぞれ3つのセンサー*が検知し、自動的に、節水・省エネ・時短で運転する機能です。

ECONAVI

省エネナビ

エコナビ(省エネナビ*)。それは、人それぞれのくらしや使い方に合わせて、家電自らがムダを見つけ、省エネすることで、エコをナビゲートしていくというパナソニックだけのアイデア。人のいるところを中心に暖房するエアコンや、必要以上に洗いすぎない洗濯乾燥機、さらには自分で画面の明るさを調整して省エネするテレビまで、商品カテゴリーはますますひろがっています。

●ビルトイン食洗機では、商品によって「省エネナビ」の名称で、「エコナビ」と同一機能を搭載しています。

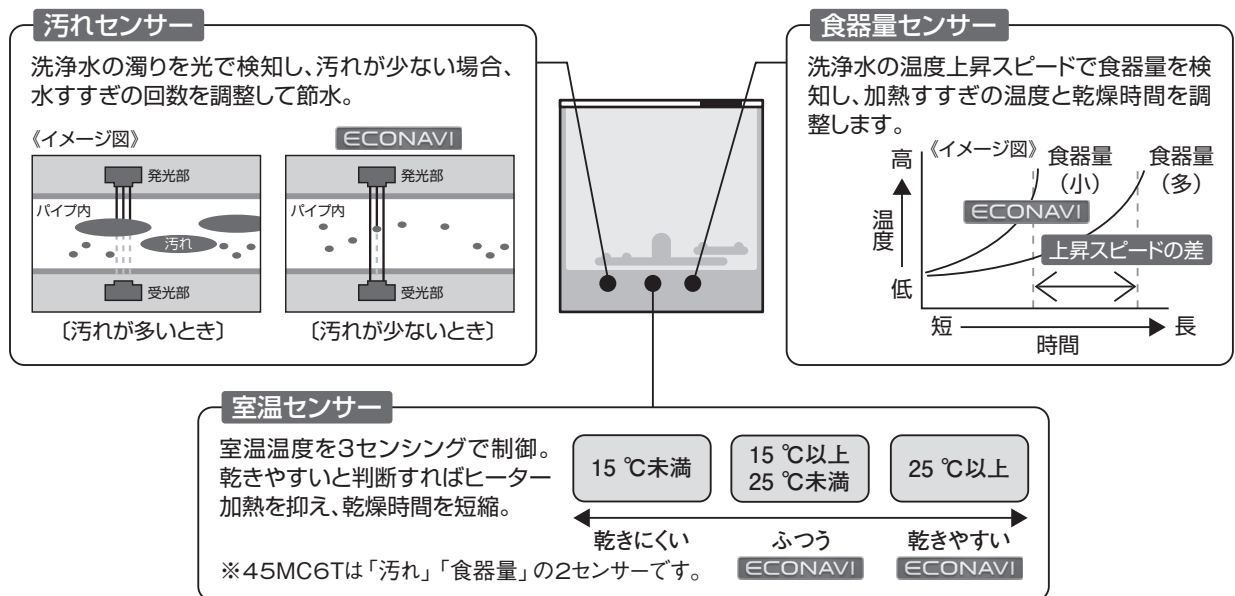
*45MC6Tは「汚れ」「食器量」の2センサーです。

Q
29

どのようにして、節水・省エネ・時短ができるの？

A 「汚れセンサー」が〈多い／少ない〉、「食器量センサー」が〈多い／少ない〉の4センシング、さらに「室温センサー」が〈高い／標準／低い〉の3センシング、合わせて12通りの細かい制御をおこないます。庫内の状況に応じて、水すすぎの回数を減らしたり、加熱すすぎの温度を下げたり、乾燥時間を短縮することで、標準コースに比べ自動的に、節水・省エネ・時短で運転します。

◆エコナビ(省エネナビ)の仕組み



Q
30

温度センサーが追加されたメリットは？

A

メリット1 従来の2センサーに比べ、制御プログラムのパターンが12通りに増えエコナビ(省エネナビ)運転する機会が増えました。

メリット2 乾燥行程終了後の室温状況で、ドライキープの運転時間を自動的にコントロールします(オートドライキープ)。室温が高い場合など、無駄な乾燥を防いで運転が停止。ドライキープ行程でも節電、時短が可能になりました。

■各種別搭載センサー

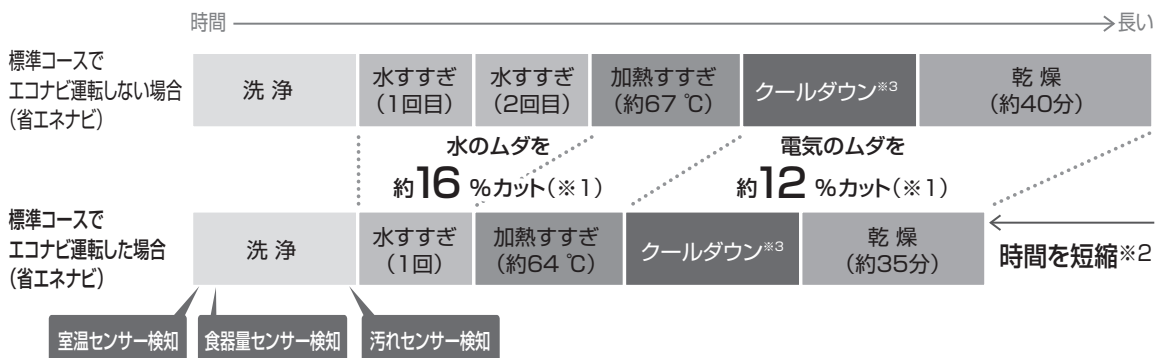
	汚れセンサー	食器量センサー	室温センサー	
NP-45K8シリーズ	○	○	○	ECONAVI
NP-45M8シリーズ NP-60MS8シリーズ	○	○	○	ECONAVI
NP-45V7シリーズ	—	○	—	ライトエコ
NP-45MC6T	○	○	—	ECONAVI (2センサー)

Q
31

標準コースと比べるとどれだけ節水・省エネできるの？

A

庫内の状況に応じて、最大約16%の節水^{※1}& 約12%の節電^{※1}を実現。時間は約16分^{※2}の短縮になります。



※1：NP-45KD8Wでエコナビ運転した場合とエコナビ運転しない場合との比較。●エコナビ運転した場合：使用水量約7.5 L、消費電力量約0.42 kWh、運転時間約117分(50 Hz)/約112分(60 Hz) ●エコナビ運転しない場合：使用水量約9 L、消費電力量約0.48 kWh、運転時間約133分(50 Hz)/約128分(60 Hz) ●これらは最大値であり、食器の量や汚れによって効果は異なります。●日本電機工業会自主基準「食器洗い乾燥機の性能測定方法(2008年3月5日改正)」に基づき、給湯温度60℃で設定。エコナビ運転の食器点数と汚れの量については独自基準です。

※2：機種、供給水の温度によって異なります。NP-45KD8Wは約16分の短縮になります。

※3：クールダウンはNP-45K8シリーズだけの行程です。

Q 32

どの運転コースでも、エコナビ(省エネナビ)が働くの？

A

「標準」および「予約」コースを選択すれば、エコナビ(省エネナビ)が作動します。
(NP-45K8/M8、60M8シリーズ/NP-45MC6Tの場合)

「標準」コース以外(「強力」「スピーディ」「節電」)の各コースは、状況に応じてお客様に運転方法をお選びいただくもので、コースごとの機能設定を変えてしまうと、十分にそのコースでも機能を果たせなくなる可能性があります。「食洗機におまかせ」の「標準コース」であれば、セットの量や汚れ具合をお客様が考えなくても「エコナビ」が自動的に判断して運転することができます。

食器の汚れ、食器量が多い場合でもエコナビ(省エネナビ)運転することがあります。(例1)
また、食器量が少なくてもエコナビ(省エネナビ)運転しない場合もあります。(例2)

例1

食器の種類(軽い・小さいなど)や設置状態、室温、水温、水道水圧の変化によっては、エコナビ(省エネナビ)運転する場合があります。

例2

- カレーなど色付きの汚れが多い場合や設置状態、室温、水温、水道水圧の変化によっては、エコナビ(省エネナビ)運転しない場合があります。
- 運転中に「一時停止」ボタンを押したり、ドアを開けた場合、センサーの検知結果に影響し、エコナビ(省エネナビ)運転しない場合があります。
- 本体を給湯器に接続していると、エコナビ(省エネナビ)運転しない場合があります。給湯器の電源を切るとエコナビ(省エネナビ)運転を行います。
- 連続して運転を行うと、センサーの検知結果に影響し、エコナビ(省エネナビ)運転しない場合があります。

Q 33

エコナビ(省エネナビ)が機能しているのはどこでわかるの？

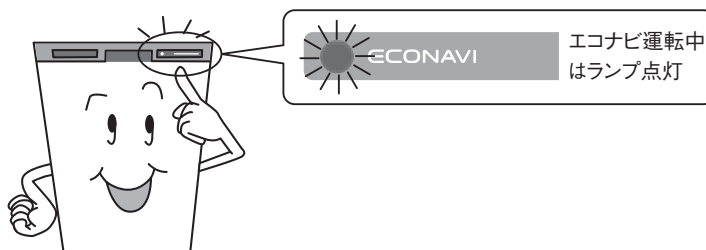
A

前面操作部にあるエコナビ(省エネナビ)ランプの点灯状況で判断することができます。(NP-45M8/60M8シリーズ/NP-45MC6Tの場合)

洗浄行程の間、ランプは「点滅」。センサーがエコナビ(省エネナビ)検知中を表します。

すすぎ行程以降、ランプが「点灯」するとエコナビが機能していることを表します。

※NP-45K8シリーズはエコナビ(省エネナビ)表示が庫内上面操作部にあるため、確認することができません。



Q 34

なぜ、給湯接続だとエコナビ(省エネナビ)が働かないの？

A

エコナビ(省エネナビ)は、食器量センサーが洗浄水の温度上昇スピードで食器量を検知しています。このため、最初から給湯接続の高温のお湯を供給すると、センサーが温度上昇を検知できず、エコナビ判定に影響する場合があります。

機器は45℃以下の場合のみ「食器量センサー」が作動するように設定されています。給湯接続される場合「エコナビ(省エネナビ)」機能をお使いになる場合は、必ず45℃以下になるように温度設定してください。

知っトク! 周辺情報

こんなご家族に、食洗機が、エコナビ(省エネナビ)が便利!

エコナビ(省エネナビ)機能搭載のNP-45M8/60M8シリーズ/NP-45MC6Tは、それぞれ約5~7人の食器容量ですが、例えば、次のようなご家庭にもおすすめです。

①【少人数の家族だからこそ、エコナビ(省エネナビ)の出番!!】

● 共働きのご夫婦の 2人暮らし

- ・朝食と夕食、2食分の食器や調理器具もまとめて洗えて時短。
- ・エコナビ(省エネナビ)なら時間の経過やメニューによる汚れの違いにもかしこく対応。

● 小さなお子さんのいる 2~3人家族

- ・お子さんとのふれあいの時間と、衛生面の安心をもたらす食洗機。
- ・こまごまと食器点数が多いわりに、全体の食器量としては少なめ。また、しつこい油汚れなどは比較的少なくエコナビ(省エネナビ)が活躍。

● 中高年のご夫婦の 2人暮らし

- ・朝・昼食と夕食など、2回に分けて洗えば経済的。
- ・エコナビ(省エネナビ)なら、お二人の普段のあっさりメニューから、家族が集まった時のこってりメニューまで、かしこく洗い分け。

● 高齢のご夫婦の 2人暮らし

- ・家事負担を抑えつつ、衛生面にはいっそうの配慮をしたい世代にも食洗機はおすすめ。
- ・最適自動運転を行うエコナビ(省エネナビ)なら、操作も簡単。

②【家族が多くても、必ず標準コースとは限らない!?】

● 働き盛り・育ち盛りの4~6人家族

- ・洗いものが多く食洗機はもはや必需品。
- ・家族の食事時間のズレやおやつ・夜食などで少量の食器を頻繁にお使いになる時は、エコナビ(省エネナビ)が便利。

Q
35

「少量」「スピーディ」コースと比べて、どんなメリットがあるの？

A

運転コースの使い分けの判断がむずかしい場合でも、3つのセンサー(NP-45MC6Tは2つ)により、最適の運転方法を判断し、無駄なくきれいに洗い上げます。

例えば

- 食器の量は少なくても、カレーや脂っこい料理の汚れが多く付着している場合
- こってりしたメニューでも漬け置きや下洗いをしている汚れが少ない場合
- 食器の量が多くても汚れが少ない場合

「少量コース」は明らかに食器点数が少ない時(21点以下)、「スピーディコース」は下処理をして明らかに汚れが軽い時、というように一定の条件のもとに、洗浄時間や乾燥時間が設定されています。

運転コースの使い分けの判断が微妙な場合は「標準コース」をお選びいただくことをおすすめします。

知っつく！周辺情報

ちょっとした工夫でさらに省エネ、エコ！

食品のムダを
省く

- ◆一度に大量に買わず、適量の材料を買って、適量を調理。
- ◆大根の葉や皮など、捨てていたものが実は美味しいおかず！
- ◆ダシを取った後の昆布や鰹節を佃煮に。
- ◆残り野菜は浅漬けや、春巻きやコロッケなど上手に活用！

エネルギー使用量
を減らす

- ◆ガスの炎は鍋底のサイズに合わせて。
- ◆圧力鍋の活用や、保温調理で加熱時間を短く。
- ◆地元の食材を使う「地産地消」も、運搬にかかるエネルギーを削減。

水の節約、
排水の汚れを
防ぐ

- ◆野菜を洗ったザルなどは、他の洗い物と混ぜずに、サッと水ですすぐだけで済ませる。
- ◆新聞紙やいらぬ布などで、食器の残さいや汚れをふき取る。樹脂製などのヘラなら、水と一緒に使えて便利。
- ◆米のとぎ汁は植物への水やりに。節水にも役立ち、植物の栄養にもなる！
- ◆フライパンなどから食器に移す時、樹脂製などのヘラを使えばムダがなく、汚れも残らない。
- ◆できるだけ、食べてすぐに洗うか、つけ置きを。

ゴミの減量

- ◆簡易包装、環境に配慮した容器包装のものを買う。
- ◆生ゴミ処理機を活用する。
- ◆茶殻やコーヒー豆のカスを掃除や消臭に活用する。



カワイイかたちのヘラも市販されています。

知っトク! 周辺情報

～食事の後片づけを見直して、自分時間の確保とエコを実現!～

- 「自分の時間は欲しいけど、家事に時間を取られるのは仕方がない」と思っていないですか?
主婦の「家事事情」について、海外のデータと比べてみると…

日本の主婦の家事労働時間は、諸外国の約2倍!

- ・諸外国の1日平均約2時間に比べ、4時間以上も家事をしている日本の主婦。長時間の要因は?

◆諸外国よりも多い料理の回数!

- ・約93%の日本の主婦が1日2～3回料理をしています。

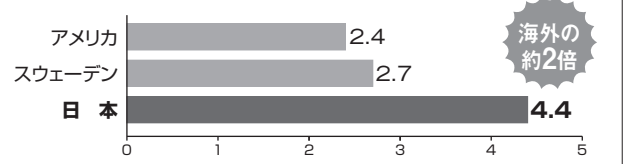
◆日本では後片づけは主婦に任せきり!

- ・家族みんなで後片づけしているのは1割もありません。

◆食器は「手洗い」が主流の日本の主婦!

- ・海外では食洗機が60%以上普及し、主婦が食器洗いから解放されています。

■家事労働時間の国別平均(時間/一日当たり) ※1



	アメリカ	スウェーデン	日本
1日2～3回料理を行なう ※1	62%	41%	93%
食事の後片づけを家族全員で行なう ※2	25%	41%	9%
食洗機の普及率 ※3	59%	68%	20%

※1)日本の主婦1,000人と、アメリカ、スウェーデンの主婦各300人へのインターネット調査(P&Gによる)
 ※2)内閣府男女共同参画局の「国際比較調査(2002年)」による
 ※3)ユーロモニター(2009年)による
 ※本文・資料中の数値はすべて四捨五入で表示しています。

だから、日本の主婦の約75%は「自分時間」よりも「家事」を優先!

解決 食洗機と後片づけのちょっとした工夫で、「楽しい家事」と「充実した自分時間」を!

食洗機なら炊事の悩みも解決!

■炊事する際、どんなことを重視している? ※4	有職主婦	専業主婦
手短な調理時間で作ること 時短	92%	90%
手際よく作ること 時短	97%	90%
後片づけが大変でないこと 時短	74%	64%
お金がかからないこと、無駄にならないこと 節約	83%	86%
電気やガス、水などを無駄にしないようにしている 節約・エコ	61%	71%

- ★食器の数や後片づけの手間を気にせずに、お料理メニューも広がります。
- ★お料理しながら、使い終わった物から食洗機へ。手際よく時短ができます。
- ★食洗機で節約した時間がそっくりそのまま「自分時間」に!
- ★食器をセットするだけの食洗機。ご家族の家事参加のきっかけに!
- ★食洗機なら手洗いよりも「節水・省エネ・時短」。節約とエコの両立を実現!

※4)日経ウーマンオンラインとYahoo!リサーチによる、東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県在住の、20～39歳の女性800人への調査から一部を抜粋。
 ※本文・資料中の数値はすべて四捨五入で表示しています。

後片づけのちょっとした工夫

- 調理中は…**
 - ・使用するボールやザル、鍋などは少なく済むよう、順序を考えて使い回す。
 - ・野菜を洗ったザルなど、洗剤を使わなくても済むものを見極める。
 - ・食洗機に入れない調理器具類は食事前に洗っておくと、シンクもスッキリし効率的。
- 食べ終わったら、役割分担で…**
 - ・食卓で汚れをヘラなどで集める。または、ボロ布や紙でふき取る。
 - ・汚れがひどく下処理が必要なものや手で洗う食器類を別にする。油污のないもの→油污のあるものの順で処理。
 - ・その他は、同じ形の食器ごとに重ねる。箸やスプーンなどもひとまとめにすると便利。すぐにつけ置きするか、食洗機へ。乾燥すると汚れが落ちにくくなる。
- 洗い終わったら…**
 - ・洗った物の中で、次の食事ですぐ使う食器類はまとめてキッチンやテーブルに準備。
 - ・その他のものは食器棚へ。